

2026. 2 .25 (令和8年) 編集と発行 / 長野県東筑摩郡麻績村公民館
TEL 0263-67-2240



▲清水大さん国スポ2026ジャイアントスラローム成年男子Cで二連覇（青森県2月17日撮影）関連記事8面

地域の民生児童委員ご紹介

地域住民の立場に立って生活上の相談・援助活動を行う民生児童委員の皆さんが、昨年十二月に改選されました。任期は、令和十年十一月末までです。

その皆さんに、自己紹介と活動内容や抱負などを書いていただきましたので、今月号と次月号の予定でご紹介します。



塚原茂樹さん
(会長)

(担当地区)
中芝・小東・和合・下田

令和七年十二月の改選により、私は第三期目の任期が始まりました。

一期目の任期中は、新型コロナウイルス感染症による感染拡大を抑えるための行動制限があり、担当地域の方々との交流ができませんでした。

二期目に入り少しずつ交流もできるようになり、飯森前会長のもと、研修旅行



宮川千恵子さん
(副会長)

主任児童委員

で能登半島地震の被災地、富山県氷見市で民生委員の地震災害時における活動についてお話を伺い、大変参考になりました。また、地域の方々から何うお話に多くのことを教えていただきました。

このように、日々いろいろな勉強をさせていただきばかりで、三期目と年数を重ねても、常に初心者だなと思うことばかりです。これからも皆さまのお力を借りしながら、地域の皆さまの相談相手となり、また安心安全な生活ができるよう、任期中の活動に取り組みたいと思います。よろしくお願ひいたします。

これまでの本町・宮本地区担当を離れ、主任児童委員を務めさせていただくことになりました。今までと異なった活動で暗中模索の状態ですが、村内には放課後児童クラブやおみつこ元氣くらぶ、そしてひだまり等、子どもたちの成長や子育てを支える活動が、この他にも活発に行われてい

ますので、登下校時の見守りに加え、これらの活動の様子も教えていただきながら子どもたちの健やかな成長を見守っていききたいと思

います。また今期から、新しく「こんにちは赤ちゃん訪問」という活動が始まり、地区担当の委員と新たに赤ちゃんのお誕生したご家庭を訪問して、村からの記念品をお届けしています。育



飯森成彦さん
(副会長)

(担当地区)

山寺・横屋・半在家・丸山

児でお忙しいところをお邪魔しますので、玄関先で短時間赤ちゃんの顔を見させていただき、お母さんに子育ての様子をうかがっています。

このような活動の中で、どんなことでも気軽に相談していただけるよう努めてまいります。よろしくお願ひいたします。

昨年十二月から民生児童委員に就任して一期目が始まり、正直どのような活動をするのかわからず、担当の方や先輩委員の方に教えてもらいながら、活動しております。

地域で暮らしているご高齢の皆さまのお困りごと、心配事などのお話を聞いて、行政や福祉サービスの橋渡



峯村富紀子さん

(担当地区)

女淵・砂原・下井堀・野口

しや子どもたちの見守りな

このたび、民生児童委員という思いもよらない大役をお引き受けすることになり、自分でも驚いています。私のような未熟な者に務められるのかと、何度も思案いたしました。でも、この麻績村に生まれ育って今日まで地域の方々のお世話になり、安心して生活できているのだと思い、自分でできる範囲で地域に貢献していこうと思ひました。

昨今、地域社会におけるつながりの大切さが再認識

されています。「ちよつと困ったな」「どこに相談すればいいのかな」といったときに思い出していただける存在でありたいと思いません。行政や関係機関との橋渡し役となればと願っています。

「澄心静慮」今年の私の書初めでした。日頃、せっかちでおちよこちよいの私ですが、常に心を澄ませ静かに深く思いをめぐらせる。この精神で向き合い、一人ひとりに寄り添った支援を心がけたいです。

用事がなくても、みかけたら気軽に声をかけてくださいね。



宮下由美さん

(担当地区)

矢倉・叶里高畑・天王

この度、二期目の民生児童委員を務めさせていただきましたことになりました。気がつけば三年という月日が過

ぎていた：というのが今の感想です。

一期目は民生委員としての役割を理解し、担当の地区を自分のできる範囲で活動するということを目標に行っていました。

児童の見守りでは、月に一回、民生委員が交代で役場前・駅前・セブンイレブンの横断歩道に立ち、声がけ安全確認を行いました。

保育園でのロッケ会や運動会などの麻績の子どもたちの行事への参加や交流と、楽しい時間もたくさんありました。高齢者の方の訪問では、顔を知っていただけるとお話もはずみ、いろんな知識を教えてもらうこともあり、これが今の私の楽しみとなっています。

わが村は、災害の少ない場所ではありますが、冬季の長時間停電や急な積雪など、不安になったこともあると思います。この時代、何が起ころかわかりません。

小さなことでも共に声をかけ合って、安心して暮らせていける地域の「みまもりたい」として、微力では

ありますが活動していきたいと思しますので、よろしくお願いいたします。



宮澤惠理さん

(担当地区)

根尾・坊平・北山・上町

昨年十二月から二期目の民生児童委員の活動がスタートしました。

前期は手探りで、まず顔を覚えてもらうこと、そして身近な相談相手として、話をしてもらうことを考えて務めて参りました。

二期目も困りごとのある方、心配ごとがある方が孤立しないように、お話に耳を傾け、地域とのつながりを支えて、行政や福祉サービスの橋渡しになっていきたいと思っています。

また小学校、中学校の子どもには、諸活動への参加で元気をもらいながら、安全安心な学校生活を送れるように、少しでもお手伝い

ができればうれしいと思っています。どうかよろしくお願いいたします。



窪村富江さん

(担当地区)

中町・明治町

このたび、民生児童委員を務めさせていただくこととなりました。

民生児童委員の活動内容がよくわからなく、とても不安なままお受けし、数か月が経ちました。

定例会での和やかな雰囲気にお話を聞き、先輩の皆さまと共に活動に参加する中で、地域の皆さまが安心して暮らしていけるよう、少しでも力になれるよう、私のできることから取り組んでいます。

ので、よろしくお願ひいたします。



テレビの視聴機会が減った。

見ようと思えば、DLNAという規格の機器を使えば、携帯からでも見ることが

できるし、ティーバーという民放が運営する配信サービスもあるが、ネット動画ばかりだ。

高市早苗首相が衆議院を解散して実施された先の衆議院選挙では、特に与党が頻繁にインターネットによる選挙運動を行った。それによって、野党が敗れたと評論する方もいるが、個人的に要因は他にあると思う。だが、今回その件に触れる気はない。

私の家族は、毎日テレビを視聴してはいるが、ネット動画も同じか、それ以上である。動画もテレビのようにならなく、自分の興味があるものを検索し、いくつかあるものから選択して視聴している。

ふと「いつの間にか、時代は大きく変わったな」と思った今日この頃です。

公民館クラブ紹介

マクラメ

私たちは、十人で月二回、第一と第三の水曜日の午前九時三十分から十一時まで交流センターでマクラメを行っています。



▲部員同士が協力して作品を作成

年齢は、さまざまで、個人の作りたい作品（バッグ・マット・装飾品・小物・その他エトセトラ）のできあがりを楽しみに本を参考にしたり、部員同士で教えたり、教わったりしています。手先を動かすことが好きで、脳トレにもいいねと、



▲文化祭に出展した作品

手先・頭・会話をしながら楽しくやっています。村の文化祭にも作品を持ち寄って出展しています。

今年度最後の麻績学級

第八回麻績学級を二月二十日に交流センターで開催し、三十一人が参加しました。

第一部は、教育長のお話そして出席者表彰では、今年もすべての学級に参加され、唯一の対象者となった若林茂富さんの皆勤表彰が行われました。

第二部は、「白馬おじさんバンド」のリーダーである中村豊さんと、全国規模

で活躍されているバンドジョー奏者の吉崎ひろしさんによる演奏を鑑賞しました。すばらしいギターとバンドジョー演奏と歌声による「乾杯」や「遠くへ行きたい」といった、なつかしき謡曲に参加者の皆さんは聴き入っていました。



▲学級の最後を飾るにふさわしい演奏

新春講演会

公民館と商工会共催の新春講演会を二月十一日に交流センターで開催し、約百人が参加しました。

講師は消費経済アナリストの渡辺広明さんで、「コンビニに行くだけで日本が分かる」と題して講演して



▲日本経済について語る渡辺さん

いただきました。

長年勤めたコンビニエンスストアでの他企業とのコラボレーションや商品開発など自身の経験を語り、世界の中で日本がおかれている経済状況、人口減少・高齢化のなかで、成長産業としてのインバウンド需要のこれからについて語られていました。

第二十二回 村長杯囲碁大会

第二十二回村長杯囲碁大会を二月二十二日に交流センターで開催しました。

村内外から二十二人が参加され、四つのリーグに分かれて真剣勝負が行われて

いました。大会の結果は、次のとおりです。

Aリーグ

優勝 田内正一（松本市）

準優勝 小池卓三（生坂村）

第三位 田川昌子（松本市）

Bリーグ

優勝 村田洋祐（松本市）

準優勝 飯森英哲（横屋）

第三位 中山一雄（西之久保）

Cリーグ

優勝 西澤高貴（筑北村）

準優勝 久保淳二（安曇野市）

第三位 牛越 猛（生坂村）

Dリーグ

優勝 小原 蓮（松本市）

準優勝 勝山稜太郎（松本市）

第三位 川上磊象（筑北村）

総合優勝 村田洋祐（松本市）



▲有段者同士の対戦

元気通信!!

今月の小・中学校

麻績小学校

聖学級では

今年度は、バジルやポツプコーン、大根などの栽培販売活動、恐竜を題材にした制作表現活動など、子どもたちの願いにより、いろいろな人と交流したり体験したりする活動を通して、楽しみながら自立的な生活を目指す学習をしてきました。

なかよし教室では

国語と算数を中心に教科学習を、年間を通して行っています。また、野菜の記



▲早く大きくなってね

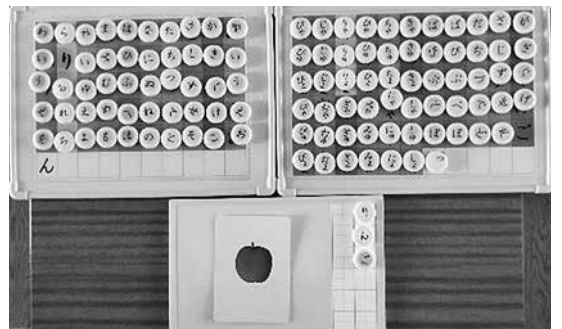
録をタブレットでまとめたり、麻績村の寺や神社、史跡へ行き、地域学習を進めたりしてきました。来年度は、さらにたくさん野菜を作ることに、麻績城跡や切通しに行つて地域を知ることに取り組みもうと考えています。

このような活動を通して、学校生活全体や原学級での活動が充実できるようにしたいです。

まなびの教室では
読んだり書いたりする時に使う文字や算数の基本的



▲ダンボール工作
『ジュラシックパークへ行こう!』



▲平仮名のマグネットで言葉づくり

な計算を、普段の学習でも使うことができるように、教材をいろいろ試しながら学習しています。

筑北中学校

ふるさとプロジェクト

一年 菊池結菜
私たちは筑北祭で、麻績村の現状や課題、それに対する対策について、クイズや劇を取り入れたプレゼンテーションと展示で発表しました。

その中で私は、麻績村の人口や産業について国の平均と比べながら調べました。調べていく中で、私自身これまで知らなかった人口や

農業の課題、それに対する村の対策について深く学ぶことができ、とても良い経験になりました。また、調べたことを筑北祭で発表することでは、麻績村の現状や対策を知ってもらい、きっかけになったと思います。

今回のふるさとプロジェクトで学んだことをこれらの生活に活かしていきたいです。



▲一年生 発表の様子

大好きふるプロ

三年 高野真まる

今年のはふるさと学習では、校外学習や村の方からの話を聞き、麻績村の歴史につ

いて学びました。私は麻績村の歴史をあまり知らなかったもので、たくさん学ぶことができました。

私は「麻績宿」と「冠着山」を重点的に調べました。麻績宿は善光寺街道の宿場町、冠着山は筑北三山のうちの一つであることを知りました。

クラスのみんなまで調べたことを発表することによって、自分で調べたこと以外のことでも学べることができたとし、自分で調べたことを知ってもらうことができてよかったです。



▲三年生 地域巡りの様子

麻績の神社と 薙鎌信仰について

(その十五)

矢倉諏訪神社について (続き)

十、戦争と矢倉諏訪神社 について

麻績小学校百年史・昭和十二年度職員会誌に「矢倉部落児童(尋一以上)諏訪神社工共同参拝・七時ヨリ出征セシ、戦傷者ノ健康快復ヲ祈願・浜校長・矢倉部落担当者宮坂訓導参加ス」とある。

村内の各村社で、出征兵士の見送りや、必勝祈願・健康祈願が挙行された。

このため昭和初期から昭和十六年開戦前に、一村に一カ所の「村社」が置かれた。

十一、立川流と大隅流 について

立川流は、建築彫刻の宮彫の流派で、江戸時代室暦の頃、立川和四郎富棟が大成した。

立川和四郎富棟(一七四四〜一八〇七)は、諏訪市の桶職塚原忠右衛門の次男

江戸に出て、立川和四郎富房のもとで寺社建築を修行して立川姓を許される。

彫刻を大家中沢五兵衛に学んだ。建築彫刻の名作といわれる諏訪大社下社秋宮の幣拝殿・茅野市の白岩観音堂・静岡県の浅間【せんげん】神社などが有名である。

諏訪立川流の名声は、二代富昌以降五代に及んだ。

下井堀天王社の彫刻と建築は、茅野市出身の木工棟梁藤森広八で、工匠大隅流【おおすみりゅう】の原五左門に学び、立川流の技法も吸収して独自の作風を確立した。文政三(一八二〇)年から始まり文政七(一八二四)年に完成したという。

諏訪大社秋宮は立川流、春宮は大隅流の名工対決であったという。

矢倉諏訪神社は「立川流」、下井堀天王社は「大隅流」と伝わる麻績の名工対決は、どちらに軍配があがるので

しようか。

日向神社(旧村社) について

一、由緒について

村誌には、「往昔、高社宮司社といひ：慶安檢地帳に上畑式畝廿歩の除地がある。大正十二(一九三二)年二月十九日高地域の諏訪社(建御名方命)：の六社を合祀して日向神社と改称し：昭和十一(一九三六)年一月二十日村社になった。

元禄・享保・明治の神社分布の概況表、明治十二年の頃には「諏方社」がある。

日向村誌には「社宮司・建御名方命往古聖山中腹の諏訪の森に鎮座していたのを中古現位置に移せり」と



▲入口の両部鳥居



▲日向神社拝殿

ある。

「諏訪の森」については調査中である。

昭和二十一(一九四六)年宗教法人として届けられている。

館報おみ昭和五十(一九七五)年十二月二十日発行の第一〇五号「日向神社」の記事には「延暦年間(七八二〜八〇五年)の頃、諏訪神社の御分霊として、現在地へ鎮座した」とあり、平安時代初期である。

二、日向神社と 社格について

村誌によれば、昭和二(一九二七)年四月四日長

野県知事から会計規定指定神社に編入され、昭和十一年「村社」になった。

神社には格式があり「社格」という。明治四(一八七一)年太政官(現在の内閣に当たる)布告は、大小の官幣社・別格官幣社・国幣社並びに府・県・郷・村社及び無格社に分けた。

村内の神社の社格は、神明官が「郷社」・市野川神社・諏訪神社(矢倉)・日向神社が「村社」であり、他神社は無格社であった。旧日向村には、旧村に五社(旧桑山村は二社)が祀られている。

地理的には、村の西北に位置し、村民の参拝には何かと不便であったと推察される日向神社であるが、村社に列せられたのは、宗祀年代が古く、由緒ある神社であり、高城があったからだと推察される。

次号に続く

「寄稿」信濃史学会会員

飯森 忠幸

本の森だより

おみ図書館

本屋大賞

ノミネート作品発表

二〇二六年本屋大賞のノミネート十作が発表されました。大賞発表は四月九日の予定です。今年の大賞はこの作品でしょうか。図書館では全作品をご利用いただけます。ノミネート作を読みながら、予想してみたいかがでしょうか、ご利用ください。(書名五十音順)

暁星



湊かなえ 著

双葉社

ありが



水鈴社

瀬尾まいこ 著

イン・ザ・メガチャーチ



日経BP

朝井リョウ 著

失われた貌



櫻田智也 著

新潮社

エピクロスの処方箋



新潮社

夏川草介 著

殺し屋の営業術



講談社

野宮有 著

さよならジャバウォック



双葉社

伊坂幸太郎 著

熟柿



熟柿 佐藤正午

KADOKAWA

佐藤正午 著

探偵小石は恋しない



小学館

森バジル 著

PRIZE—プライズ—



文藝春秋

村山由佳 著

麻績小学校図書館便り

本のポップ作りに挑戦!

図書委員会では、今年度たくさん読まれた本を全校の皆さんに知ってもらい、選書の参考にしてみようために、手書きポップを作りました。あらすじや主人公への思い、心に響いた一文



▲私たちが書きました。読んでみてね!

前月の図書館

来館者数 334人
貸出冊数 752冊
ご来館ありがとうございます。

その後本と共に展示すると、興味深く眺め早速借りていく姿が見られました。

簡単な面もありますが、一字ずつ心を込めて書き、出来上がってみると、手書きの温かさが感じられるポップとなりました。

▲どの本も面白そう!

**清水大選手
国スポで二連覇達成**

第八十回国民スポーツ冬季大会スキー競技会「青の煌(きら) めきあおもり国スポ二〇二六」が二月十六日に青森県大鰐(おおわに)温泉スキー場で開催され、ジャイアントスラローム成年男子Cの部門で清水大選手(本町)が昨年度に続いて優勝(タイムは56秒43)しました(写真は一面参照)。

**第二十八回
ジュニアJ.S大会**

第二十八回ジュニアジャイアントスラローム大会が二月一日、聖高原スキー場で開催されました。

聖高原スキークラブをはじめ、村内外の幼児から中学生まで八十人の子どもたちが参加しました。コンマ一秒でもタイムを縮めようと競い合いました。大会の結果は、次のとおりです。

●小学生一部

【一〜三年の女子】
優勝 鈴木沙和
(やぶはらジュニアスキークラブ)

準優勝 工藤和香
(やぶはらジュニアスキークラブ)

第三位 工藤実和
(やぶはらジュニアスキークラブ)

●小学生二部

【一〜三年の男子】

優勝 石坂仁清 (東京都)

準優勝 上平光ノ輔
(苗場レーシング)

●小学生三部

【四〜六年の女子】

優勝 雑賀千咲 (東京都)

準優勝 湯川 葵
(やぶはらジュニアスキークラブ)

●小学生四部

【四〜六年の男子】

優勝 樋口 禅
(篠ノ井西小学校)

準優勝 杓掛 暖
(青木小学校)

第三位 小室陽智
(スキーチーム大町)

●中学生五部
【中学生の男子】

優勝 原たまき (松本市)

準優勝 亀岡 凜 (原中学校)

第三位 平田 麗
(やぶはらジュニアスキークラブ)

●中学生六部
【中学生の男子】

優勝 安部寛太
(大町蓮華スキークラブ)

準優勝 友常猛大
(奈川ジュニア)

●幼児七部

【小学生未満】

優勝 近藤 圭
(豊岡保育園)

準優勝 北村春季
(tkd881)

第三位 杓掛 世
(青木保育園/STO)



▲入賞おめでとう

**第二十八回
スノーフェスティバル**

第二十八回聖高原スノーフェスティバルが二月二十二日に聖高原スキー場で開催されました。

バナナボート、雪上タルころがしや輪投げゲームなどイベントが行われ、多くの親子連れが参加して賑わいをみせていました。



▲バナナボート発進!

第九回村長杯麻雀大会

第九回村長杯麻雀大会を二月十五日に麻績学舎で開催しました。

社会福祉協議会の健康麻雀をきっかけに大会に参加された方など二十人の愛好家が集まりました。



▲強者同士の名勝負

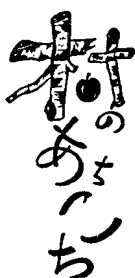
AからEまである卓の間で、試合結果の順番で対戦相手が入れ替わり、優勝をめざして腕を競い合いました。

大会の結果は、次のとおりです。

優勝 渡辺 圭(野 口)

準優勝 三浦 武(高)

第三位 小山正文(中 沢)



ご冥福を祈る

芦澤茂外美	87歳	本 町
飯森 國子	96歳	半在家
滝澤 澄子	75歳	叶里高畑
清水 宣男	99歳	女 淵